

様式第4号（第5条関係）

平成30年3月31日

古賀市議会議長

議員名 平木 尚子

平成29年度政務活動費収支報告について

古賀市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第1項に基づき、別紙のとおり政務活動費収支報告書を提出します。

- 1 平成29年度政務活動費収支報告書
- 2 添付書類
 - (1) 政務活動費収支報告書（別紙1）
 - (2) 政務活動費支出内訳書（別紙2）
 - (3) 領収書又はこれに準ずる書類

別紙1

平成29年度政務活動費収支報告書

議員名 平木 尚子

1 収入

政務活動費 120,000円

2 支出

項目	金額(円)	支出内訳書の番号
調査研究費		
研修費	60,000	3
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費	36,420	1, 2
事務費		
支出合計	96,420(円)	

3 残額 23,580円

別紙2

平成29年度政務活動費支出内訳書

番号	期 間	内 容	経費 (円)	備考
1	2017年11月20日 ～2018年3月19日	日経グローバル 月間2冊発行 購読(9冊)	34,020	年間購読予約 のうち、今年度 9冊
2	平成30年 1月29日	書籍購入 「地方議員のため の役所を動か す質問のしか た」	2,400	
3	平成30年 1月29日～30日	あなたの質問を 画期的に変える 質問力アップ集 中4講座in博多	60,000	1月29日母死 去の為29日1 講座のみ参加。 29日1講座、 30日2講座欠 席→資料、デー タの取得のみ。

※研修及び視察には報告書を添付のこと

確かな情報で、地域の未来を切り拓く!

地方創生、地域経営、地方議会の現場を徹底調査。自治体・地域の**実力** **現状** **課題**を明らかに。

自治体予算と主要事業

都道府県予算、4年ぶりマイナス、税収と交付税の減見込み慎重編成
 全国市区予算、一般会計2.2%増、196市区が過去最高

業務改革のトップランナー

松江市、大阪府など37団体が最高評価AA。民間委託、指定管理、庶務集約化など5項目で、都道府県と全国市区を評価

多死社会にどう備えるか

全国814市区調査、無縁遺骨増加、火葬場不足深刻に

貧困対策最前線

生活保護受給者、24都道府県239市区が15年前より悪化

市区町村別 出生率

地方議員2514人意識調査

政務活動費「規制強化が必要」7割超
 活性化策、「報酬増で若者の参入促す」最多

固定資産評価額が示す格差

299団体の平均評価額は公示地価の3割未満

減債基金の積立不足

54団体の2兆3883億円、大阪府など4団体が2000億円超す

公共施設・公共インフラ 総量削減の時代

多くの自治体が老朽化と財政難に陥る。高齢化・寿命延長で対処
 取り組みの成否は地域の「合意形成」がカギ

地域おこし協力隊、4000人時代

約6割が任期後も定住、地域づくりの一翼に。受け入れ体制強化が急務、隊員・自治体・地域の連携力も

地域の中核へ公立大学の模索

地元が求める人材の育成・還元が使命。教育インフラ作り、自治体の長期ビジョンが不可欠



岐路に立つ 公立図書館

進む電子書籍、減額図書費、使い方に巧み、多彩
 なサービスで存在感を高める

地方鉄道に未来はあるか

増す自治体負担、観光需要に活路、まちづくりと連携へ

どう減らす滞納・不納欠損

自治体が地方税、保険料の徴収対策強化、取り組み加速へ

人口減少時代の 国土管理

「複合的な効果をもたらす施策」と国土の
 持続的利用で荒廃防止

広がる 所有者不明土地

国が新法を準備、自治体も登記促進などを対
 策強化に動く

地域連携の最前線

定住自立圏構想から約8年、116団
 体が協定締結

動き出す地域医療連携推進法人

待たされたしの改革、都道府県にとって2025年対策のツールと
 なるか、地域医療の真実を探る

専門家の提言・現場の生の声

「地方創生」の現状を診る
 今一度原点に戻って点検を

早稲田大学
 公共経営大学院教授、元総務相 片山 善博氏

地方は本当に人手不足なのか
 嘆く前にやるべきことがある

早稲田大学
 公共経営大学院教授、元総務相 三神 万里子氏

小池都知事の今後の課題
 首都圏で防災体制構築を

びわこ医療センター大学長
 前滋賀県知事 嘉田 由紀子氏

「人口のブラックホール」東京を
 最強のコンパクトシティに変革

経営共創基盤CEO 富山 和彦氏

地方創生の「インフラ」整備を
 意識と諸制度の改革が不可欠

早稲田大学名誉教授 北川 正恭氏

「我が事・丸ごと」こそ
 地域づくりのキーワード

元厚生労働事務次官 村木 厚子氏

地方への成長産業の立地促す
 3年で2000社の支援を目指す

経済産業省 地域未来政策推進部長 田岡 卓晃氏

地域公共交通の維持・活性化
 自治体・住民協働で基盤整備を

国土交通省総合政策課交通計画部長 金子 正志氏

「君の名は。」ヒット機に
 他自治体と連合

岐阜県飛騨市長 都竹 淳也氏

横浜の魅力づくりへ
 市とスクラム

横浜 DeNAグループ社長 岡村 信悟氏

地方議員のための

役所を動かす 質問のしかた

川本達志

Kawamoto Tatsushi

大好評
セミナーを
書籍化!

- テーマを絞り、粘り強く
- 役所のPDCAに乗せる
- 物語を描いて共感を得る

あなたの
質問で
まちは変わる!



数々の質問を受けてきた
元副市長が伝える質問のコツ!

学陽書房

地域の未来を 紡ぎ出すために

経済や政治が時代の大きなうねりの中で
過渡期を迎える今、糸を束ねるような細やかな
行政の取り組みが必要になってきています。
本誌は様々な各地域行政の事例を紐解き、
あなたの行動をサポートしていきます。



日経 *NIKKEI GLOCAL* グローカル

地方創生の勘所がこの一冊に!

地方議員のための 役所を動かす 質問のしかた

川本 達志[著] 〈定価 本体2,300円+税〉 A5判/並製/184頁
ISBN 978-4-313-18055-0 2017年7月刊行

あなたの質問でまちは変わる！ 大好評セミナーを書籍化！

地方議員に向けて、本会議の一般質問を通じて政策を提案し、地域課題を解決する方法をわかりやすく解説。議会改革が進み、地方議員に質問力の向上が求められる今、執行機関の立場で数々の質問と向き合ってきた元副市長が一般質問のノウハウを詳解。事前準備、段取りから執行部の共感を得る方法、具体例までわかる。新人議員はもちろん、「なかなか前向きな答弁が返ってこない」と悩む議員の方にオススメの1冊！

目次

- 第1章 あなたの質問で、役所は動かせる
- 第2章 議会における一般質問のしくみ
- 第3章 執行部側からみた議員の質問
- 第4章 役所を動かすための質問のポイント
- 第5章 政策提案型質問の作り方
- 第6章 課題・責任追及型質問の作り方
- 第7章 「一般質問」を議会の意思として行う議会改革

地方議員のための
役所を動かす
質問のしかた

川本達志
Kawamoto Tatsushi

大好評
セミナーを
書籍化!



学陽書房

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-9-3 TEL. 03-3261-1111 FAX. 03-5211-3300
<http://www.gakuyo.co.jp/> 振替00170-4-84240

(フリガナ)

お名前 貴議会名 (期目)

電話番号 () - FAX番号 () -

領収証宛名 ご本人様名 ・ その他 ()

当日不参加の場合はチェックください 当日不参加(資料、USB音声データ、領収証 郵送希望)
音声データの無断転載等はいしなことに同意して申込みます

*より詳しいご案内をご希望の方は、お気軽にお問合せください。

下記参加される講座にチェックボックスへ チェックください。(1講座15,000円)

予算議会直前 委員会特別講座				in 東京	
講師 樋渡 啓祐氏 (元佐賀県武雄市長・樋渡社中 Founder & CEO)					
2月5日(月)	10:00~ 12:30	<input type="checkbox"/> 委員会質疑で指摘すべきポイント1(総務編)	14:00~ 16:30	<input type="checkbox"/> 委員会質疑で指摘すべきポイント2(厚生福祉編)	
2月6日(火)	10:00~ 12:30	<input type="checkbox"/> 委員会質疑で指摘すべきポイント3(教育・学校編)	14:00~ 16:30	<input type="checkbox"/> 委員会質疑で指摘すべきポイント4(建設・水道編)	

早稲田大学環境総合研究センター×地方議員研究会 共催セミナー						in 早稲田大学大隈記念タワー	
講師 岡田 久典氏 (早稲田大学環境総合研究センター 上級研究員)		講師 三津川 真紀氏 (一般社団法人安心R住宅推進協議会 代表理事)		講師 吉田 雄人氏 (早稲田大学環境総合研究センター 招聘研究員、前横須賀市長)		講師 永井 祐二氏 (早稲田大学環境総合研究センター 研究員准教授)	
講師 井原 雄人氏 (株式会社早稲田大学アカデミックソリューション社会連携企画部主幹研究員、早稲田大学環境総合研究センター 招聘研究員)							
2月6日(火)	講師：岡田 久典氏 10:00~ 12:30	<input type="checkbox"/> 自然エネルギー・省エネルギーの基礎知識&導入戦略	講師：岡田 久典氏 14:00~ 16:30	<input type="checkbox"/> 地方創生の様々な実例、地方創生における大学の上手な使い方			
2月7日(水)	講師：岡田 久典氏、三津川 真紀氏 10:00~ 12:30	<input type="checkbox"/> 空き家対策及び住宅ストック社会形成の最前線	講師：吉田 雄人氏 14:00~ 16:30	<input type="checkbox"/> 人口減少社会における発想の転換-横須賀市の事例から-			
2月8日(木)	講師：永井 祐二氏 10:00~ 12:30	<input type="checkbox"/> 市民と創る地域ポイントシステムの実例と応用	講師：永井 祐二氏 14:00~ 16:30	<input type="checkbox"/> 地域が豊かになる民泊の実例・基礎知識			
2月9日(金)	講師：井原 雄人氏 10:00~ 12:30	<input type="checkbox"/> 地域公共交通の基礎知識	講師：井原 雄人氏 14:00~ 16:30	<input type="checkbox"/> 地域公共交通を守る工夫の様々な実例			

財政課長、財政部長経験者が語る 財政の質問のポイント				in 京都	
講師 財政 太郎氏(仮名) (現職公務員、元財政課長、元財政部長、元会計管理者)					
2月7日(水)	10:00~ 12:30	<input type="checkbox"/> 議員が知っておくべき財政の話 基礎編1	14:00~ 16:30	<input type="checkbox"/> 議員が知っておくべき財政の話 基礎編2	

公共施設マネジメントの展開				in 大阪	
講師 南 学氏 (東洋大学経済学研究科公民連携専攻客員教授)					
2月7日(水)	10:00~ 12:30	<input type="checkbox"/> 財政問題としての公共施設マネジメント	14:00~ 16:30	<input type="checkbox"/> 行政改革としての公共施設マネジメント	

民間資金・ノウハウの活用と公会計改革				in 大阪	
講師 南 学氏 (東洋大学経済学研究科公民連携専攻客員教授)					
2月8日(木)	10:00~ 12:30	<input type="checkbox"/> 公民連携と指定管理者制度	14:00~ 16:30	<input type="checkbox"/> 公会計改革で変わる議会審議	

人口減少時代の人件費に切り込む質問のポイント				in 東京	
講師 山中 俊之氏 (㈱グローバルダイナミクス代表取締役、大阪市特別顧問)					
2月7日(水)	10:00~ 12:30	<input type="checkbox"/> 公務員の人事制度と職場環境	14:00~ 16:30	<input type="checkbox"/> 給料表の徹底解説(読み解くポイント)	
2月8日(木)	10:00~ 12:30	<input type="checkbox"/> 職員の評価と給与への反映	14:00~ 16:30	<input type="checkbox"/> 人口減少時代の新しい課題	

キリトリ

キリトリ

キリトリ

参考様式

<p>支出内訳書の番号 3</p> <p style="text-align: center;">調査研究報告書</p>	
1 名称	あなたの質問を画期的に変える質問力アップ集中4講座
2 目的	議会や委員会における一般質問、及び所管事務調査での質問力を高めるため
3 実施時期	平成30年1月29(月)日～30日(火)
4 実施場所	福岡市博多区博多駅東1丁目16-14 リファレンス駅東ビル
5 参加者	平木尚子
6 その他	1月29日、30日の申し込みをしていたが、29日母の死亡により、29日の午後の講座と、30日の講座に参加できず、研修会の新サービスにより、配布資料と講演収録音声データを送付してもらい、学習。

研修報告書

平成30年2月1日

平木 尚子

- 1、名称 あなたの質問を画期的に変える質問力アップ集中4講座
- 2、目的 議会や委員会における一般質問、及び所管事務調査での質問力を高めるため
- 3、実施期間 平成30年1月29(月)日～30日(火)
- 4、実施場所 福岡市博多区博多駅東1丁目16-14 リファレンス駅東ビル
- 5、参加者 平木尚子
- 6、研修内容

【講師】 宮本正一（日本公共経営研究所）

◆29日 10:00～12:30 『質問準備のその前に～あなたの街の議会のルールは正しいのか』

【内容】

- 1、議会のルールと申し合わせ事項の功罪
 - ・そのルールは何に基づいているのか
 - 法、条例、
 - 先例、慣習
 - ・理事者側に有利になっていないか。
 - 再質問ルールは？
 - 3回まで
 - ・議長選挙は？
 - 議長及び副議長の任期は、議員の任期による。（地方自治法第103条）
 - 古賀市では適正
 - ・政務活動費は？
 - 寝屋川市の例をもとに検証
 - 古賀市では1円から領収証を添付して報告し、公開。
- 2、先輩議員の言うことを疑おう
 - ・その議員の議事録を見よう
 - ・その議員の知識量を確認しよう
 - ・しかし、温故知新は忘れない
 - ・議会に先輩後輩はない。
 - ・私たちは4年間のパートタイマー。4年でやりあげる気概を！
 - ・市長の部下ではなく、有権者の代理人。→二元代表制
- 3、質問通告とその後の職員とのやりとり
 - 1) 質問通告
 - ・質問は行財政全般にわたる議員主導による政策論議であるから、議員も執行機関も十分な準備が必要。

- ・議長は質問要旨を理解して質問と答弁がよくかみあうように議事進行する必要がある
ので、**通告内容には具体性が必要。**

2) 質問要領

- ・質問は政策を建設的立場で簡明で次元の高い質問を展開したい。
- ・手順

- 1、質問原稿作成
- 2、通告書公開
- 3、担当者答弁作成
- 4、答弁調整←ヒアリング作戦

第一答弁まで引き出しておく、質問が深まる。

以下、資料と当日講演収録音声より

◆『質問準備の効果的な方法』

【内容】

1、あなたの経歴から質問を作る。

- ・自分の経歴を活かす
 - 自身の肩書きで他と差別化を
 - 1、経歴の棚卸をしているか。
 - 2、経歴の仕入れをしているか（当選当初から新しい資格がない）
- ・興味ある分野を
 - 十分のテンションが継続できる。百貨店でなくてよい。

2、あなたの公約から質問を作る

- ・選挙出馬時の公約
- ・調査結果の集大成
 - 視察計画、視察結果
- ・選挙出馬前の確認
 - 公約修正

※総合計画、「まち・ひと・しごと戦略」チェックをし、それを基に

3、質問のネタを捜すことがなくなる議員活動

- ・都道府県からの入手方法⇒HP、担当者
 - ・メディア等からの情報収集⇒記者クラブ利用
- 『内閣府』ここは統計の山

◆『議会や委員会での質疑やりとり向上研修』

【内容】

1、なぜ、あなたの質問は執行部に響かないのか

- ・質問とは市町村の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるもの。

- ・質問の範囲は具体的には、自治事務、法的受託事務であることを問わず、市町村が処理する一切。

- ・質問の効果

- ただ単に執行機関の所信を正したり事実関係を明らかにするだけにとどまらず、執行機関の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明らかにさせる。結果としては、現行の政策を変更、是正させ、あるいは新規の政策を採用させるなどの目的に効果がある

- ・なぜ、あなたの質問は執行部に響かないのか

- 論点が整理されているか。

- 背景、仮説、検証、結論

- 結論の設定はしているか

2、「検討します」「調査します」への切り返しの極意

- ・年間原稿作成シート、答弁マトリクスシート活用

3、一目おかれる議員

- ・現場主義を徹底する。

- ・担当課と協議ができています。

- ・先進市からの情報収集

◆『質問のその後～本来の議員活動のために質問を有効に使う～』

1、質問ただけでおわってないか

2、あなたの質問によって役所ではこんな動きをしている

- ・「検討します」「調査研究してまいります」の場合

- 部長指示⇒先進視察、関係部署聴取

- 具体策検討⇒新規予算検討、次年度廃止等

2、議員活動を効果的に行い、市民に向けての広報活動につなげる

- ・政治活動をもう一度見直そう

- ・広報3大活動

- 辻立ち、ポスティング、市政報告会

7、報告

この3年間で行ってきたことが、十分だったのか、また、正しかったのか。
今期残りの1年をどう充実させ、政治活動や、その結果に反映させていくか。
改めて整理して考えることができた。

明確になった点は、きちんと整理して、活用していきたい。

本状作成日 2018年 2月 26日

領収書送付のご案内

拝啓

時下益々ご清栄の事と、お慶び申し上げます。

平素は小社発行の刊行物の購入につきまして、格別の御高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、先日ご依頼の領収書をご送付申し上げますので、ご査収の上、よろしくお取計い下さいますようお願い申し上げます。

敬具

平木 尚子 様
(購読者番号：5320036323)

日経BPマーケティング 読者サービスセンター
〒134-0086
江戸川区臨海町 5-2-2
Tel (03)5696-1124
月～金 9:00～17:00

領 収 証

No 094886

平木 尚子

殿

(5320036323)

¥ 90,720

収入印紙



但し 日経グローバル 年間購読代金として
(2017年11月20日号より 24冊)

H29年度
1冊 3780-

上記の金額正に領収いたしました

11/20号 ~ 3/19号 計 9冊分 34,020-

2017年 12月 11日

東京都港区虎ノ門 4-

株式会社 日経BPマ

扱 印



領 収 証

平木尚子 様

30 年 / 月 29 日

★ ￥2,400

但「地方議員のための役所を動かす質問のしかた」
書籍代として
上記正に領収いたしました

一般社団法人地方議員研
〒532-0004
大阪市淀川区西宮原2丁目
TEL 06 (7878) 6297

領 収 証

平木尚子 様

30 年 1 月 29 日

★ ￥60,000

但 1/29~1/30
「質問力アップ集中4講座 in博多」
4講座 研修会受講代として

上記正に領収いたしました

収入印紙

日本
政府
2007

一般社団法人地方議員研
〒532-0004
大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-655
TEL 06 (7878) 6297